

問題

マスグレイブの財政の 3 機能について、具体例を挙げながら説明せよ。

解答のポイント

2013 年度は租税分野から、2014 度は財政制度からの出題であった流れのなかで、今年度は財政理論から出題された。

「財政の 3 機能」は典型論点ではあるが、650 字程度の限られた紙幅の中で、要点を踏まえつつ、いかにコンパクトに収めるのかが、合否のポイントとなる。答案構成としては、「財政の 3 機能」それぞれについて、定義と簡単な具体例を書くことで、容易に及第点に達するであろう。紙幅（字数）の制約があるなかで多くを書こうとすると、字数オーバーになってしまうので、むしろその点に注意が必要である。

解答例

マスグレイブの財政の 3 機能とは、資源配分機能、所得再分配機能、経済安定化機能のことを指す。

まず、資源配分機能とは、公共財や経済の外部性、平均費用逓減産業の存在といった、市場メカニズムの限界により最適な資源配分が達成されない場合、経済効率の観点から政府が市場の資源配分に介入する機能のことである。例えば、公共財については市場の失敗が発生するため政府が供給し、経済の外部性のうち、外部経済が発生している場合には補助金を支給することで供給を促進させ、外部不経済については課税を行うことで供給を抑制するとともに、平均費用逓減産業に対しては、独占価格が生じないように価格規制を行うことが挙げられる。

次に、所得再分配機能とは、個人間の所得分配の格差が著しい場合、社会的公正の観点から、格差を緩和・是正する機能である。例えば、所得税や相続税に対する累進課税制度が、公的年金保険や雇用保険といった社会保険制度や、生活保護といった公的扶助からなる社会保障制度が挙げられる。

最後に、経済安定化機能とは、自動安定化装置や裁量的財政政策などをつうじて、景気変動を安定化させる機能である。例として、自動安定化装置はビルト・イン・スタビライザーとも呼ばれ、直接税や社会保障制度として財政の中に制度的に組み込まれており、経済情勢に応じて自動的に作用して経済を安定化させる。もう 1 つの裁量的財政政策はフィスカル・ポリシーとも呼ばれ、好況・不況に応じて財政支出を縮小・拡大したり、増税・減税を実施することによって経済を安定化させる。

以上（648 字）

TAC 生はココで解けた！

専門記述対策レジュメの p.132 問題 42 およびその類題から出題されている。類題も含めてこの問題を解いていれば、十分な合格答案を書くことができたであろう。